



議会だよりはこのQRコードからご覧いただけます。



本庄小学校

# みんな ともだち



伊根小学校

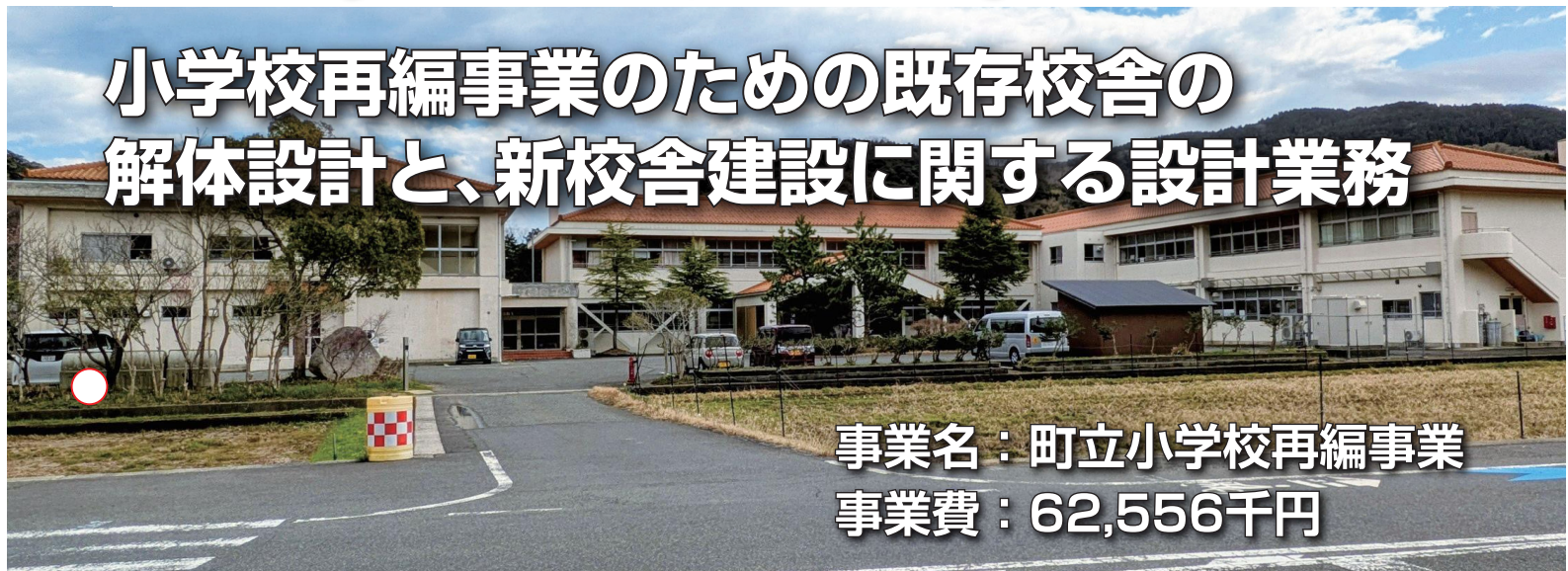
### 3月定例会

■ 令和8年度一般会計当初予算	2	■ 町政を問う 一般質問(3人が質問)	10
■ 令和8年 第一回定例会	4	■ 委員会報告	11
■ 令和8年度予算質疑	4	■ 玉手箱	12
■ 令和8年度一般会計予算賛成討論	7	■ 編集後記	12
■ 令和7年度補正予算	8		

# 予算 全員賛成で可決

40億1,200万円(前年比3,200万円減)

小学校再編事業のための既存校舎の解体設計と、新校舎建設に関する設計業務



事業名：町立小学校再編事業  
事業費：62,556千円

照明が省エネ改修される伊根中学校体育館



事業名：学校管理運営費(中学校)  
事業費：38,021千円

導入される多機能型小型ポンプ付積載車



事業名：消防設備維持管理事業  
事業費：14,187千円

# 令和8年度一般会計当初

0歳児保育に対応するため  
増築される伊根保育園

事業名：保育所管理運営費 ●  
事業費：59,501千円

駆除が追いつかない鹿

事業名：有害鳥獣対策事業 ●  
事業費：31,902千円

老朽化した設備の更新で  
改修される本庄浜海水浴場施設

事業名：観光施設管理運営費  
事業費：38,610千円

# 令和8年 第1回定例会

3月3日から18日の間で開かれ、諸般の報告・行政報告、令和7年度専決補正予算1件、令和8年度当初予算8件、令和7年度補正予算2件、条例制定等11件、その他1件について審議しました。

## 予 算

全て全員賛成で可決

### 令和8年度一般会計当初予算

歳入歳出予算総額は、40億1,200万円。前年比3,200万円(0.8%)の減額。

#### 【主な当初予算の内容】

○0歳児保育に向けた伊根保育園増築工事 39,966千円

○有害鳥獣対策事業 31,902千円

○本庄浜海水浴場施設の改修工事 30,737千円

○小学校再編事業のための既存校舎の解体設計と、新校舎建設に関する設計業務 61,705千円

※令和8年度から令和12年度までの継続費総額 270,000千円

○伊根中学校体育館照明省エネ工事 23,200千円

○多機能型小型ポンプ付積載車購入 9,213千円

### 令和8年度国民健康保険特別会計予算

事業勘定歳入歳出予算総額は、3億7,967万4千円。前年比855万6千円(2.2%)の減額。伊根診療所勘定の歳入歳出総額は、1億3,240万7千円。前年比2,680万7千円(25.4%)の増額。

### 令和8年度財産区特別会計予算

歳入歳出予算総額は、それぞれ103万1千円。9千円の減額。

### 令和8年度介護保険特別会計予算

保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、4億8,107万4千円。前年比768万4千円(1.6%)の増額。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、148万7千円。前年比8万7千円(6.2%)の増額。

### 令和8年度訪問看護事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、1,685万9千円。前年比346万1千円(17.0%)の減額。

### 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額は、5,074万8千円。前年比457万8千円(9.9%)の増額。

### 令和8年度簡易水道事業会計予算

収益的収入8,008万9千円、収益的支出9,736万7千円。資本的収入1億895万6千円、資本的支出1億2,882万5千円。

### 令和8年度下水道事業会計予算

収益的収入8,015万3千円、収益的支出1億248万5千円。資本的収入5,925万4千円、資本的支出7,363万5千円。

## 予 算 質 疑

#### 固定資産税

**問** 地方税法には徴税吏員の質問検査権があるが、申告されたもののみを課税するのではなく、地方税法第353条の質問検査権を行使し、公平な課税と財源確保をすすめるべきでは  
**答** 従来から行使していない。人員不足で行使は難しいが、確定申告書類との照合チェックを行う。

#### 行政共通事務費

**問** カスタマーハラスメントが社会問題化している。令和8年10月1日から、改正労働施策総合推進法に、企業等にはカスタハラ防止のため、雇用管理上、必要な措置を講じることが義務付けられることになった。そうした中で、カスタハラ対策として、庁舎電話機に録音機能を設置することとは、職員を守る意味で必要であり評価する。他の出先機関への設置予

算は含まれていないが、今後、必要になるのではないかと

答 検討したが、現状事案がないので、様子を見ながら、庁舎電話機能アップの中で、今後検討していきたい。

問 カスハラ事例などをまとめた対応マニュアルや連絡相談体制はどのようになっているのか

答 令和8年10月1日までに対応マニュアルの整理を行う。

企画費

跡地活用事業 1624万円

問 住宅整備のための侵入路整備は今回必要なのか

答 今後の土地活用を考えると早期の整備が必要。

自治会活動支援事業

問 観光とまちづくり共生基金を活用した自治会活動交付金の均等割を5万円から10万円の増額は、地区協議会要望でもあり評価する。区長会で、増額された均等割分の財源についても説明されると思うが、広報誌等でも本財源について、ひろく広報することが、観光と共存・共生する意味ではないか

答 区長会や広報誌等を通じてこの基金を活用した事業について広報していく。

町長・町議会議員選挙費

問 ポスター掲示場の配置場所データを再利用するためのゼンリンの地図データ使用料だが、ゼンリンにこだ

わる必要があるのか。GoogleマップやYahoo地図等の無料の地図データを使用できないのか

答 無料の地図データを用いた掲示場をお示しできるようにする。

問 衆議院総選挙から、地区要望により当日投票所の閉鎖時刻の繰り上げが行われた。公職選挙法第64条では、市町村の選挙管理委員会は、あらかじめ開票の場所及び日時を告示しなければならないとされている。

昨今の働き方改革が叫ばれる状況に鑑み、投票管理者、投票立会人及び事務従事者等の負担軽減と、経費削減のため、現在より、開票の開始も早くすることはできないのか

答 国政選挙等では、開票動向が他団体の選挙人の投票行動に影響を及ぼす可能性があり、京都府選挙管理委員会からすべての投票が終わった後となっている。本町の選挙ではこの制約はないので、開票開始時刻を早めることは可能なので検討する。

地方バス路線維持費補助金

問 伊根町の路線はインバウンドを中心に乗車数は増え、増収している中で、人件費増による補助金増加のことだが、どれくらい給与は増えたのか。今後も給料をあげれば、そのたびに市町村の補助金が増えるというところか

答 働き方改革関連法と自動車運転者の労働時間等の改善のための基準の改正に伴い、路線バスに従事する

運転手の総数が増えたことや待遇改善のため、令和6年から令和7年にかけて17.6%の人件費増となった。今後も人件費の増加や燃料費等の輸送コストが増え、運賃収入が変わらない状態だと補助金は増えることとなる。

問 地方公共交通においても、二重価格制の導入が議論されている。特に、観光客と地元住民で異なる運賃を設定する「市民優先価格」制度が、令和9年度中に京都市で実現すべくすすめられている。この制度は、観光客には高い運賃を設定し、地元住民には従来どおりの安価な運賃を維持することで、オーバーツーリズムによる混雑問題を緩和することを目的としている。こうした取組も検討し、補助額の抑制を検討すべきでは

答 京都市の二重価格が認められた際には、事業者や路線市町と協議を検討したい。



観光客で溢れる伊根バス停

誘客対策事業

伊根浦公園付近におけるトイレ不足

問 七面山にトイレはあるものの、福祉センターには女子トイレが3つしかなく、列をなしている。昨年4月に2回、5月に1回、トイレレットペーパー以外のものが捨てられ詰ま

ったこともあり、使用できなくなる事態も発生した。伊根浦公園付近のトイレが、福祉センターのみという深刻な状況を鑑みると、散策トイレの増設や仮設トイレの設置等を検討すべきでは

答 伊根浦公園に大型バス到着が重なる時間やイベント時のトイレ不足は認識している。伊根浦公園周辺の散策トイレの増設は要望があれば検討したい。仮設トイレは利用者が少ないので、既存トイレを含めた案内誘導の工夫をしたい。抜本的な対策は令和8年度に設置するオーバーツーリズム対策協議会で検討したい。



順番待ちで行列をなす福祉センタートイレ

問 小学校フェンス設置費用950万円は、以前に教育委員会が整備したものの数日で壊れ、撤去したようなフェンスだと予算の無駄遣い。今回設置するのは、福祉センターと並行する形で、プランコまで、基礎をしつかりとした開閉式を導入することだが、暴風にも耐え、高さは一般的な2.2m以下という理解でいいか

**答** 現地条件を踏まえ、高さは1・8m、基礎を含めた防風にも耐えるものを設置する。



[伊根小学校フェンス]

**観光施設管理運営費**

**問** 本庄浜海水浴場既存施設改修30,000千円はあまりに高額。建設費上昇も理解できるが、改修工事内容は

**答** 新築は7,000万円を超える概算見積となり、既存施設の改修に方針転換した。本庄浜区のご意見も取り入れ、老朽化した設備更新と使い勝手と維持管理を踏まえた内部と外壁の改修を予定している。

**駐車場管理運営費**

**問** 地元への借地料だが、大幅な増額要因と妥当性は

**答** 駐車料の増加によるもの。借地料は駐車料収入から管理経費を除いた77分の31で契約に基づき支払う。

**問** 丹後海陸交通株式会社への駐車場貸付金額は年300万円だが、平田区の借地料算出根拠は

**答** 平田区の土地の一部を駐車場と

して借りており、伊根町と平田区の契約により支払っている。契約の内容は駐車場台数が増えるごとに借地料も上昇する契約となっている。

**保育所管理運営費**

**工事請負費 3,996万円**

**問** 積算根拠は

**答** 京都府規模単価を採用し、12月議会にて設計を発注し、それを基に積算している。

**地域公共交通確保維持費**

**問** 積雪等でないタクを運休する判断基準と運休時の勤務体制は。また委託料は減額するのか

**答** 警報ではなく予約状況や道路状況で判断し有休消化する。運休分は減額している。

**個人番号カードの交付**

**問** 町内の方でまだ、個人番号カードを交付されていない方がいるのか

**答** 個人番号カード取得者は85%、交付されていない人は約250人程度ある。

**有害鳥獣対策事業**

**問** 2、3年前からシカによる被害が増加傾向にある。現在、通電する獣害ネットの設置が増えてきているように思うが、当町でも通電する獣害ネットを購入、支援する考えはないか

**答** 通電する獣害ネットが補助対象な物なのかを確認し、要望等、必要

であれば、購入支援する。

**問** クマ対応職員と猟友会員の防護服等資材購入で、緊急銃猟や関係機関と連携した訓練は実施するのか

**答** 府主体で関係機関と実施する。現在マニュアル作成中で確認しながら実施する。

**教育費無償化事業**

**問** 学校給食無償化事業では学校給食費、保護者負担ゼロ、昨年の米の価格高騰や生鮮食品、調味料等も値段が高くなっていると聞く。今年度、小学校、中学校の児童生徒1日、一人あたりの給食にかかる費用はいくらになるのか

**答** 小学校の児童320円、中学校の生徒350円となる。

**問** 現在の無償化の対象外品目として、習字道具・裁縫セット・彫刻刀・そろばん等、があるかと思うが、文科省も推奨する学校備品化・貸与の方式について、検討しているか

**答** そろばんは学校の備品で、貸与している。その他については、今後個人が使用することもあるので、個人の購入とならざるを得ない。

**小学校再編事業**

**問** 国土交通省や消費者庁のガイドラインでは、子育て環境として保育所や小中学校は自宅から1・2km以内にあることが望ましいとされている。しかし、今回の新設工事では、保育園と小学校・中学校がそれぞれ9km離れてしまっている。また、

全国の過疎自治体で小学校と中学校が5km以上離れているケースはほとんどない

**答** 本庄小学校跡地を決定した理由は、複数の候補地を通学距離、安全性、敷地の広さ、災害時の避難機能、交通アクセス、地域施設との連携、将来の拡張性など多角的な条件で比較・検討し、最も適切と判断した。

**問** 教員や調理員、運転手などのスタッフ不足から、小学校と中学校の併設義務教育校への統合が進む現状がある。もちろんスクールバスでの対応もあるが、将来的には子育て環境として不便になるのではないか

**答** 小中学校の連携は、現在も英語教諭が小学校で授業を行うなど連携が進んでおり、児童生徒数減少に伴って義務教育学校や小中一貫校の選択肢を検討しつつ、現時点では連携型教育で対応可能。

**問** 小学校建設には補助制度があるものの、莫大な予算が必要。児童生徒数が減少する中で、伊根中学校は築80年は使用可能であり、コストを抑えるためにもこの施設を活用すべきではないか

**答** 新しい小学校用地について、国の基準で必要な校舎面積は約2,920㎡と算出される。これは、小学校では1年生から6年生までの6クラスに加え、特別支援学級や通級学級が約2クラスあるため、中学校より多く、合計で約8クラス分の教室が必要のため。しかし、現在の

伊根中学校の敷地では、2階建てや3階建ての建設を検討しても必要な校舎面積を確保するのは難しい。

**問** 本庄小学校の解体設計、新校舎の基本設計の、算出根拠は

**答** 京都府単価を採用して規模を乗じた金額。

**国民健康保険特別会計**  
**伊根診療所勘定 医薬品衛生材料費**

**問** 院外処方になったときの医薬品在庫は

**答** 予防接種ワクチンは返品可能。飲み薬は開封しなければ返品可能だが、使用期限が短く在庫調整し処方する。

**国民健康保険税**

**問** 国保運営協議会で、未就学児の均等割免除は、報告事項なのか。諮問事項にならないのか

**答** 12月議会の一般質問で町長が明言したので決定事項と認識しており、報告事項とした。

**問** 免除分を基金繰り入れで対応することとしているが、国保被保険者全員の所有である基金を一部の方のみに充当するという点について、運協に諮問もせず、国基準以上の新しい免除制度を一部の一般質問と町長裁量で決定するのであれば、一般会計で補填すべきではないか

**答** 免除する均等割は、被保険者に対するものであり、基金充当が適当と考える。

# 賛成討論

(令和8年度一般会計予算賛成討論)

原案可決

## 大谷議員



▼本予算は昨年度より縮小したものの過去2番目の予算規模となる大きな予算。  
各事業においては伊根分校跡地活用事業でのゴダイドラッグストアの開設、商工費では観光課題に対する官民の協議体の設置、保育所管理運営費では、0歳児保育のための増築工事、林業振興費有害鳥獣対策、教育費無償化事業など、継続事業と新たな発展のための必要な重要事業が計上され、町民生活を応援する予算。小さな自治体の良さを生かし、小さくても元気で誇りある町作りをめざし、町民の暮らしと命を守る立場で一層のご努力をいただくことを期待し賛成する。

## 松山議員



▼令和8年度当初予算は町民の福祉の増進に係るための予算として賛成します。  
4月にはドラッグストアゴダイのオープンがあります。町民が町内で食料品や日用品の購入が完結できる施設として役目を見た気がします。運営はこれからとなりますが期待が高まることです。また、保育所の増築後は0歳児の受け入れも可能となるなど子育て支援満足度と子育て支援期待度が重なった事業と大いに評価をいたします。あとは、実現だけです。  
いずれにしても、町民のニーズを把握し、費用対効果、代替え案、補助金、財政面などを比較検討し十分な積み上げにより、伊根町の判断で事業を提案することになると思いますが、この数年の目まぐるしいスピードに職員数の減少や働き方改革による弊害などがなく進捗することを期待し賛成討論いたします。

## 長谷川議員



▼令和8年度は、ゴダイドラッグ伊根店が営業開始となる。また、診療所も統合され「いねタク」利用者数の予約集中と増加も予想される。町内の移動手段を担う公共交通として、町民の利用状況に応じた運行に努めていきたい。観光客数は、本年度も増加すると予想され、地元住民からは交通渋滞やマナー違反などにより、観光客嫌悪にも繋がっている。渋滞緩和対策を講じて住民の生活環境の改善を図っていただきたい。小学校の再編では、約4年間の建設に係る予算計上で、本年度は解体工事設計と新校舎新築工事設計が行われる。これからの時代を担う子供たちが自然・歴史・文化・景観に触れ、地域コミュニティ力を生かした、伊根町ならではの学びの場になるよう整備をお願いする。有害鳥獣対策では、駆除委託費や侵入防止柵の予算増額と本年度のクマ対策として放任果樹伐採事業も合わせ、農作物被害の防止や生活環境の改善に取り組んでいただきたい。観光施設管理では、本庄浜海水浴場施設の改修と浦島離岸堤の改修が行われ、観光客の受け入れ強化で海水浴シーズンの活性化に繋がる。本予算は、限られた財源から必要な事業の検討と財源配分がされ、地域要望や町民の声が反映された予算である。町民の暮らしを支え、安全で安心して暮らせる「まちづくり」となる行政運営をお願いして賛成討論とする。

# 令和7年度補正予算

全て全員賛成で可決

## 一般会計 第6回補正予算

歳入歳出予算総額に、それぞれ1,016万3千円を追加し、41億760万7千円とする。

### 【主な内容】

衆議院議員選挙費 10,163千円  
衆議院の解散に伴う総選挙の執行経費

## 一般会計 第7回補正予算

歳入歳出予算総額に、それぞれ8,777万6千円を追加し、41億9,538万3千円とする。

### 【主な内容】

京都丹後鉄道の基盤整備等に係る補助金 16,130千円  
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による地域振興券の追加発行 31,653千円  
有害鳥獣駆除業務 4,711千円  
観光とまちづくり共生基金積立金 12,289千円  
除雪費追加 9,000千円



【地域振興券】



【大雪となった町道】

# 国民健康保険特別会計 第4回補正予算

本庄診療所勘定の歳入歳出予算総額に、それぞれ187万2千円を追加し、7,397万円とする。

### 【主な内容】

医療機器の伊根診療所への移動経費 1,633千円

## 伊根町飲食料品等小売施設の設置及び管理に関する条例の制定について

### 【提案理由】

生活必需品を町内で調達できる生活環境を整え、町内で日常生活を完結できる体制を構築するため、伊根分校跡地を活用して整備している、飲食料品等小売施設を公の施設に位置付けるための制定

## 伊根町飲食料品等小売施設の設置及び管理に関する条例の制定について

問 通常であれば設置条例とセットで指定管理の条例がされると思うが

答 伊根町が4・2億円をドラッグストアゴダイに全額補助したもので、建物全てがゴダイの所有

であるため指定管理の条例は提案する必要がない。

問 補助金の支出の精査はできているのか  
答 精査はできており問題ない。



【4月オープンした  
飲食料品等小売施設】

## 財産の無償貸付について

### 【提案理由】

当施設の敷地を、店舗を所有するゴダイ株式会社へ無償貸付する

財産の所在 伊根町字日出248番1

貸付け面積 2879.04㎡

貸付けの相手 兵庫県姫路市綿町104番地

スクエアビル2F

ゴダイ株式会社

代表取締役社長 浦上卓也

## 伊根町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

### 【提案理由】

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるための制定

## 伊根町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

### 【提案理由】

常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴う改正

## 公益的法人等への伊根町職員の派遣等に関する条例の一部改正について

### 【提案理由】

派遣職員に超過勤務手当等を支給することができるとする改正

伊根町国民健康保険診療所設置及び管理に関する条例の一部改正について

【提案理由】

持続性のある地域の一次医療を確保するため、伊根町国民健康保険診療所を1診療所とする改正



[伊根診療所]



[伊根診療所 本庄分院]

伊根町国民健康保険税条例の一部改正について

【提案理由】

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、新たに子ども・子育て支援納付金を創設し、あわせて子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもの均等割額を全額免除するための改正



伊根町健やか子育て医療費の支給に関する条例の一部改正について

【提案理由】

個人番号カードを活用したオンライン資格確認による医療費助成を実施するための改正

伊根町奨学基金条例の一部改正について

【提案理由】

奨学金の貸与対象を高校生に拡大するための改正

伊根町特別職職員の給与及び報酬等に関する条例の一部改正について

【提案理由】

弁護士など特に高度の専門的知見を有する有識者をいじめ防止対策推進委員等に任命する場合の報酬を規定する表を追加する改正

伊根町小学校教育の在り方審議会設置条例及びより豊かな学びが実現できる学校施設審議会設置条例の廃止について

【提案理由】

いずれの審議会も目的を達成したための廃止

伊根町人権尊重のまちづくり条例の制定について

【提案理由】

人権侵害は決して許されるものではないとの認識のもと、人権に関する施策の推進について、町、町民及び事業者の責務を明らかにするとともに、

基本的な事項や方針を定めることにより、すべての町民の人権が等しく尊重されるまちづくりに寄与することを目的として制定

伊根町人権尊重のまちづくり条例

問 町民と事業者の責務を規定しているが取組への具体的な協力内容は

答 現時点では何も想定できていない。

問 4月1日の施行まであと二週間もない中での条例提案。もっと早く提案できなかったのか

答 パブリックコメント等の手続きに時間を要した。今後はこのようなことのないようにする。

令和8年第1回 臨時会

1月22日に開かれ、条例改正1件について審議しました。

伊根町立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

【提案理由】

教育環境の充実と持続可能な学校運営の確保を図るため、町立小学校を1校とするための改正



# 町政を問う



## 3人の議員が一般質問

一般質問の  
動画配信を行っています。

### クマ対策の充実を

A **さまざまな  
対応を検討し、講じる**

**問** クマによる被害が全国で増加している。そういう中で、人の生活圏でのクマの人身被害対策として、9月に改正鳥獣保護法が施行され、市街地での猟銃発砲を一定の条件下で認められた。「緊急銃猟」制度も導入された。伊根町での緊急銃猟実施について現時点でのマ

ニユアル作成の進捗状況は、町内での予防策として8年度予算で議会の政策提言でも提示した不用果樹の伐採補助について予算を計上されたが、さらに、クマスプレーの斡旋、クマ対策講習会など町民への注意喚起対策と予防対策の徹底が必要であるが、町長の考え



大谷 功 議員

を伺う。  
**答** 町長 当町においても緊急銃猟の実施に向け、資機材の準備やマニユアル作りなどを進めているが、①緊急銃猟を行うためには、クマが人の日常生活圏に侵入していること。②人への危害を防止する措置が緊急に必要であること。

③銃猟以外の方法では的確かつ迅速に危険鳥獣の捕獲等を行うことが困難であること。④避難等によって地域住民等に弾丸が到達するおそれがない場合に行うことができる。という4つの条件と、捕獲者や職員員の安全確保が整わなければ実施できないと認識している。当町の各集落の地理的状况から、出没場所にもよるが、基本的には周知と追払い、必要に応じ避難誘導といった取組が主体になると考えている。

当町では遭遇してもすぐ立ち去るものがほとんどであり、人的被害を防止するためには、集落内への出没を防ぐことが重要であり、誘因物を地域で排除していくことが大切。こういった取組を通じ「緊急銃猟が必要な状況とならない環境づくり」が重要である。町民の安心安全にむけ、今後もさまざまな対応を検討し、講じる。

### 桜が丘運動公園 グラウンドの運用について

A **古川利用をする場合は  
申請を**

**問** 桜が丘運動公園のグラウンドは、利用には申請と使用料が必要である。町民の中には、使用料を払っている人と払っていない人との間に不公平感が生じているという状況があるが、教育委員会はこの状況を把握しているのか。短時間の個人利用は無料にできないのか。

を占用しない場合は申請・使用料の対象とするのは困難であり、施設の占用をする者に対して、申請・使用料の納付を求めるものである。

**問** 放課後児童クラブの受け入れと健全育成の視点でのかわりについて。

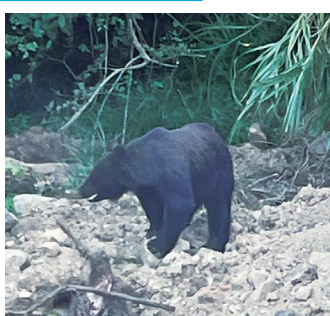
**答** 関係機関、保護者、地域住民の連携・協力で支えていく。  
**問** 令和8年度、放課後児



山根 朝子 議員

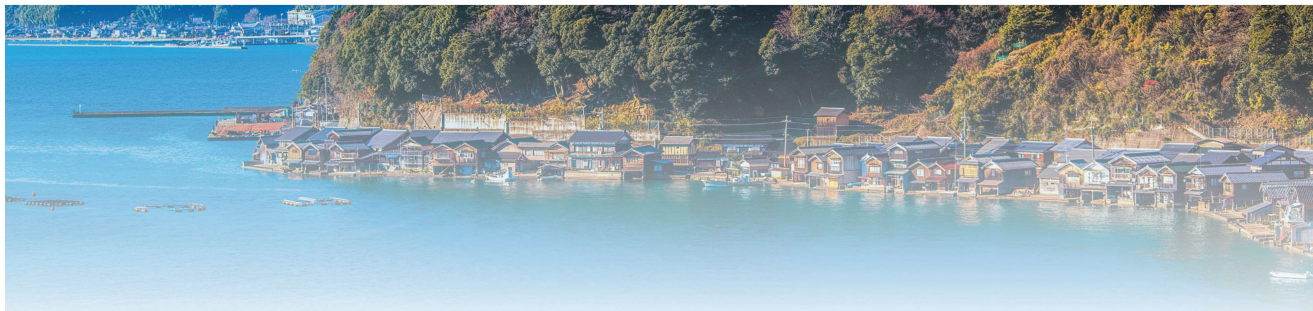
童クラブに参加できない児童がいると聞く。高学年においても、健全育成には「親や祖父母からの自立」「仲間との活動」が不可欠であり、5年生になったから、放課後は一人で過ごせるといふのは、この育成課題を阻害することになるのではないか。特に夏休み中の過ごし方について、保護者の不安は大きい。

**答** 全国の放課後児童クラブの利用率は推定で約26.6%だが、本町では通常利用42.9%、夏休み利用49.4%と多くの方に利用いただいている。夏休みも、伊根・本庄の二つの放課後児童クラブの合同で事業を実施し、様々な体験ができる機会を設けている。また、地区コミュニティ・地域学校協働本部事業としてのサマーキャンプをはじめ様々な団体の協力も得ながら取組を進めてきている。今後も事業



のさらなる拡充を図っていく。





## 委員会報告

### 総務委員会

- 令和8年3月3日  
・今後の取組について協議した。
- 令和8年3月18日  
・今後の取組について協議した。

### 産業建設委員会

- 令和8年3月3日  
■ 今後の取組について  
・空飛ぶクルマは観光だけでなく、医療にも利用できる新たな交通手段。伊根町での導入の可能性について、研究する。
- ・「空飛ぶクルマ」について豊岡市役所が取り組んでおられるので、WEBにて説明をしてもらえるか確認し6月定例会中を目途に進めていくことを確認。

### 議会活性化特別委員会

- 令和8年3月3日  
・「議員と語ろう」について協議した。

### 「議員と語ろう」の継続について

例年どおりの議会報告会の名称を変更して、昨年度から試行的に開催している“議員と語ろう”を引き続き開催することで承認した。



## 郷土芸能に

ついて

A 補助を活用し  
町も支援する

**問** 当町には、神楽や獅子舞、太刀ふり、能楽、雅楽等、約300年以上前から伝わった貴重な伝統芸能が各地区で継承されている。その文化と継承は伊根町の魅力を高める一つとなり、文化の伊根町、自慢の伊根町、愛する郷土伊根町へと繋がっていくと思う。そんな

伝統芸能の継承において人口減少、少子高齢化、用具の老朽化等で苦勞されている。大切なことは伝統芸能の魅力を身近な人に発信し後継者の育成に繋げていくことだと思いが、どの地区も後継者不足で苦慮されている。何とか頑張っ

**答** 伝統芸能が各地区で継承されてきたことは伊根町の誇りであり地域の絆を育

もであるが、当町では郷土芸能にどのような支援をしているのか。また、郷土芸能を続けていく上で道具の修理等、国・府からの補助はあるが町独自の補助の考えはないか。

「記録の公開」などについては京都府指定・登録文化財等補助金、伊根町指定・搭載文化財等補助金の補助制度がある。道具の修繕や購入については、国・府・民間からの補助があるので単独での補助制度は設けていない。伊根町の郷土芸能は、地域の皆さんの手によって何百年もの時を超えて守られてきた、宝であり、各地区で熟考していただきたい、町も支援する。



上 辻 亨 議員



### 伊根小学校

五年 上岡 翔

#### へしこを紹介して感じたこと

僕たちは総合的な学習の時間の目標を「伊根のへしこを広めよう」「伊根をもっと好きになつてもらおう」と立てました。いろいろな活動をしてきました。その中の一つに、観光客の方に試食していただき、自分たちがへしこを紹介するという活動を行いました。その活動を通して、僕はたくさん心が温かくなりました。

向井酒造でへしこを紹介する体験をしたとき、お客さんに「へしこってなんですか」と聞かれ、うまく説明できずにドキドキしました。でも、紹介する時に笑顔で話をきいてくれて、とても

嬉しかったです。レシピ集を渡す時も、しっかり耳を傾けてくれて、また嬉しい気持ちになりました。

レシピ集を見た人が「すごい！これ作ったの？」と声をかけてくれました。自分が作ったわけではないけれど、ほめられて胸の中が温かくなりました。

また、試食の「ゴミ」を持っている人に声をかけて受け取ったり、へしこの試食をしていなさそうな人に声をかけたりもしました。「ありがとう」と言われたときは、心の中がじんわり温かくなりました。

楓真さんと一馬さんと協力して、「誰がへしこを入れる？」「誰がレシピ集を渡す？」と声をかけ合いながら売りました。最初に三人で「いらっし

やいませ！」と大きな声で言ったときは、とても気持ちが良かったです。

この取組をする前は、「へしこはあまり売れないかもしれない」と思っていました。



水面に浮かぶ光  
伊根中学校1年生 山本 和華

した。でも実際には、試食会の一時間で五十個あつたへしこのうち三十三個が売れました。これは、伊根町のへしこの味を知らなかった多くの人においしさを伝えられたということです。

買ってくれた人が家で食べたとき、「伊根町のへしこ、おいしかったな」と思い出してくれたり嬉しいです。そして、それがまた伊根町に来てくれるきっかけになれば、もっと嬉しいです。このへしこを紹介する取組を通して、働くことの大変さややりがいを感じました。これからも伊根町のへしこが残り続けるように、自分にできることを考え、行動していきたいと思えます。

### 編 集 後 記

春の訪れとともに新年度が始まり、ようやく暖かな陽気が心地よい季節となりました。

新しい生活・新しい出会い・新しい環境には、もう慣れましたでしょうか。

令和8年度予算も可決され、町民の皆さんの暮らしが豊かになるよう各事業を注視してまいります。今年も花粉の飛散数は多いようですが、どうぞご自愛ください。



### 広報編集委員

- 委員長 松山 義宗
- 副委員長 長谷川 貴之
- 委員 山根 朝子
- 委員 濱野 茂樹